

# 今夏に取り組んだ節電対策等に関するアンケート調査結果

新産業・エネルギー振興課

## 1 調査目的

当県では、この夏の電力需給に対応するため、県民の皆様に節電のお願いをしてまいりましたが、この結果、電力需給ひっ迫に至ることなく、今夏を乗り切ることができました。

については、皆様の節電行動や節電意識について把握・分析を行うことで、今後の節電対策に活用していくものです。

## 2 調査対象など

調査対象：県政モニター679人（うちインターネットモニター386人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成28年9月2日～9月28日

回収結果：580人（回収率85.4%）

その他：構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。

## 3 結果概要

### ・節電意識の状況について

今夏の節電意識の状況（問8）について、「昨夏以上または昨夏並みの節電に努めた」が70.7%（前年調査76.6%）と減少し、「無理のない範囲で節電に努めたが、昨夏ほどは取り組まなかった」が20.2%（前年調査18.2%）、「取り組まなかった」が8.4%（前年調査4.3%）に増加しており、節電意識の低下が見られる。

また、今冬の節電意識（問9）においても、「今夏以上または今夏並みの節電に努める」が71.9%（前年調査78.4%）と減少し、「無理のない範囲で節電に努めるが、昨夏ほどは取り組まない」が21.9%（前年調査17.1%）と同様の傾向が見られる。

### ・節電行動への取組について

節電対策として県民の皆様をお願いしている「無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う」（問1）については、67.2%（前年調査67.9%）と前年並みの回答だったが、今夏は昨夏よりも平均気温が高く、真夏日等が多かったことを考えれば、十分に習慣として定着してきたと考えられる。

また、冷蔵庫、照明、テレビなどに関する節電行動の取組みは、昨年と比較して同程度の実施率である項目が多く、節電行動が定着していると考えられる。

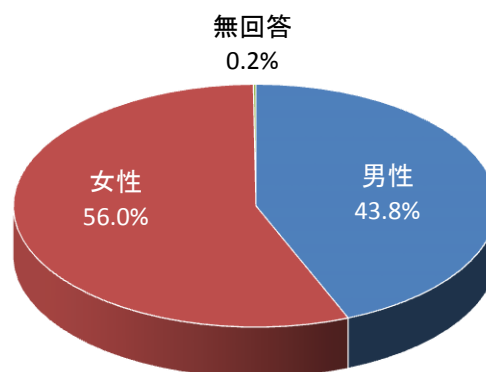
### ・節電意識の定着について（東日本大震災前と比較して）（問10）

節電意識が定着したとの回答が合計73.3%（前年調査77.7%）から減少し、「年月が経過するにつれて、意識が低下している」17.6%（前年調査16.3%）、「震災前と変わらない（または、震災前よりも低下した）」8.3%（前年調査5.2%）が増加する傾向にあることから、節電意識を高める啓発活動が必要である。

#### 4 回答者の属性

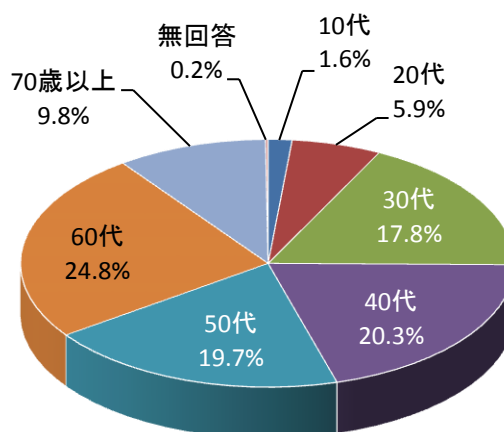
##### 性別

	人数	構成比
男性	254	43.8%
女性	325	56.0%
無回答	1	0.2%
合計	580	100.0%



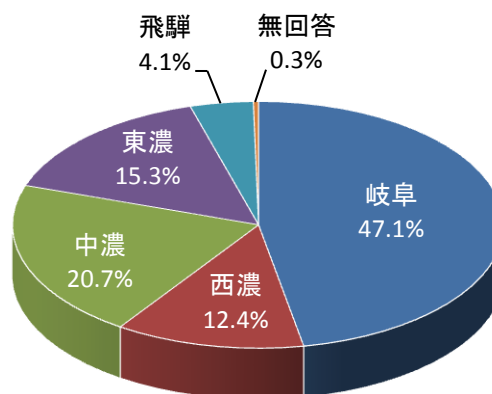
##### 年代別

	人数	構成比
10代	9	1.6%
20代	34	5.9%
30代	103	17.8%
40代	118	20.3%
50代	114	19.7%
60代	144	24.8%
70歳以上	57	9.8%
無回答	1	0.2%
合計	580	100.0%



##### 居住圏域別

	人数	構成比
岐阜	273	47.1%
西濃	72	12.4%
中濃	120	20.7%
東濃	89	15.3%
飛騨	24	4.1%
無回答	2	0.3%
合計	580	100.0%

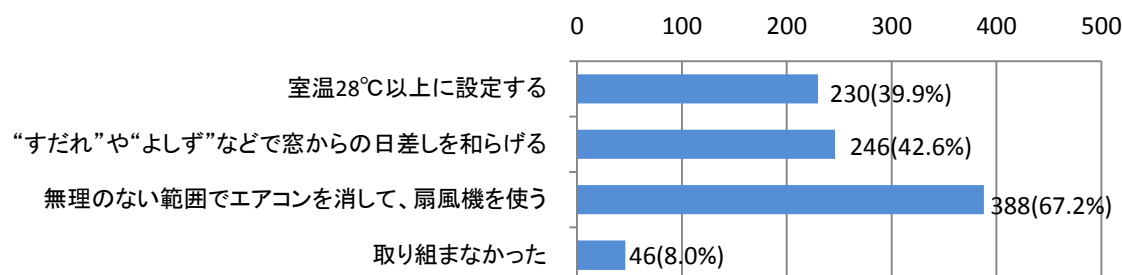


## 5 調査結果

○今夏にあなたの家庭で取り組まれた節電対策等をお答えください。

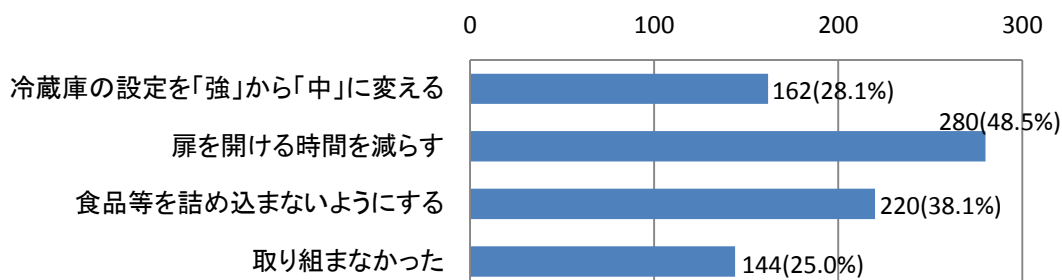
### 問1 エアコンについて（複数回答・回答者577人）

	人数	構成比
室温28℃以上に設定する	230	39.9%
“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげる	246	42.6%
無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う	388	67.2%
取り組まなかった	46	8.0%
合計	910	



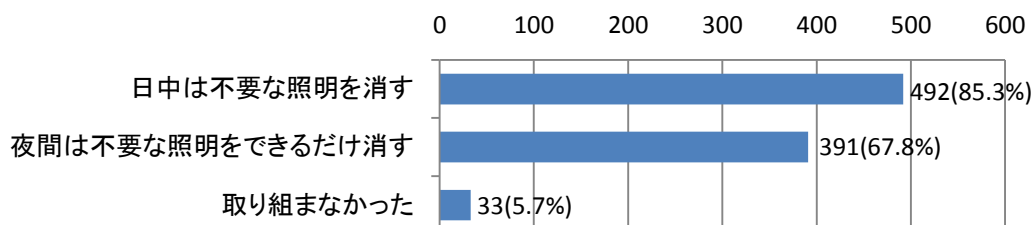
### 問2 冷蔵庫について（複数回答・有効回答者577人）

	人数	構成比
冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変える	162	28.1%
扉を開ける時間を減らす	280	48.5%
食品等を詰め込まないようにする	220	38.1%
取り組まなかった	144	25.0%
合計	806	



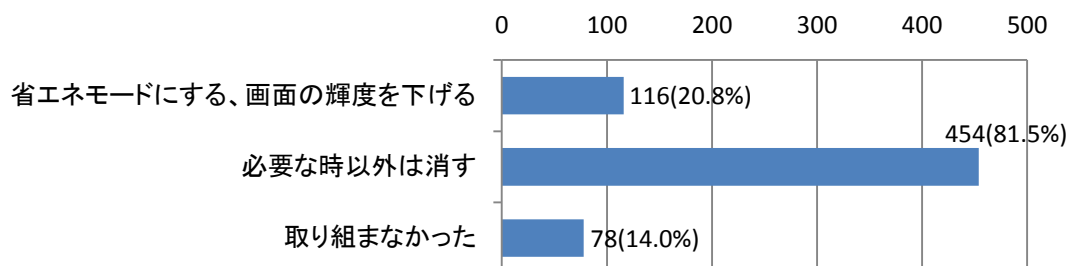
### 問3 照明について（複数回答・回答者577人）

	人数	構成比
日中は不要な照明を消す	492	85.3%
夜間は不要な照明をできるだけ消す	391	67.8%
取り組まなかった	33	5.7%
合計	916	



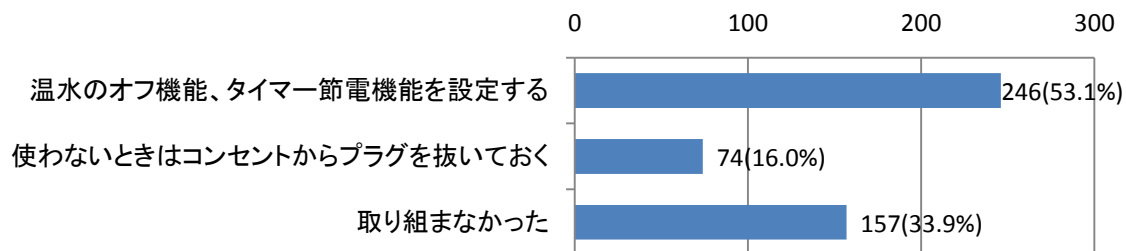
問4 テレビについて（複数回答・回答者577人／非使用20人）

	人数	構成比
省エネモードにする、画面の輝度を下げる	116	20.8%
必要な時以外は消す	454	81.5%
取り組まなかった	78	14.0%
合計	648	



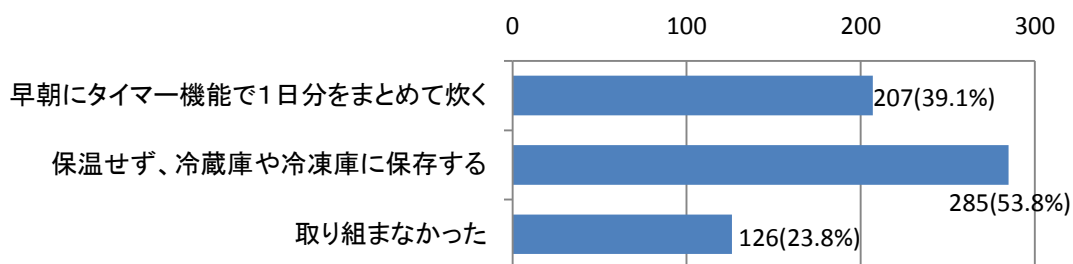
問5 温水洗浄便座について（複数回答・回答者577人／非使用114人）

	人数	構成比
温水のオフ機能、タイマー節電機能を設定する	246	53.1%
使わないときはコンセントからプラグを抜いておく	74	16.0%
取り組まなかった	157	33.9%
合計	477	



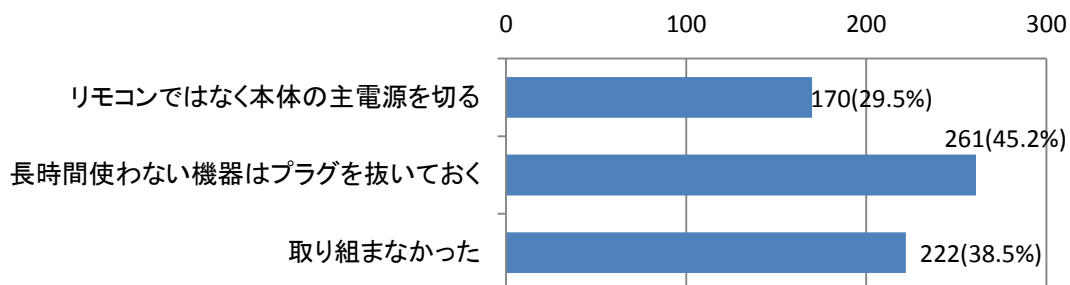
問6 ジャー炊飯器について（複数回答・回答者577人／非使用47人）

	人数	構成比
早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊く	207	39.1%
保温せず、冷蔵庫や冷凍庫に保存する	285	53.8%
取り組まなかった	126	23.8%
合計	618	



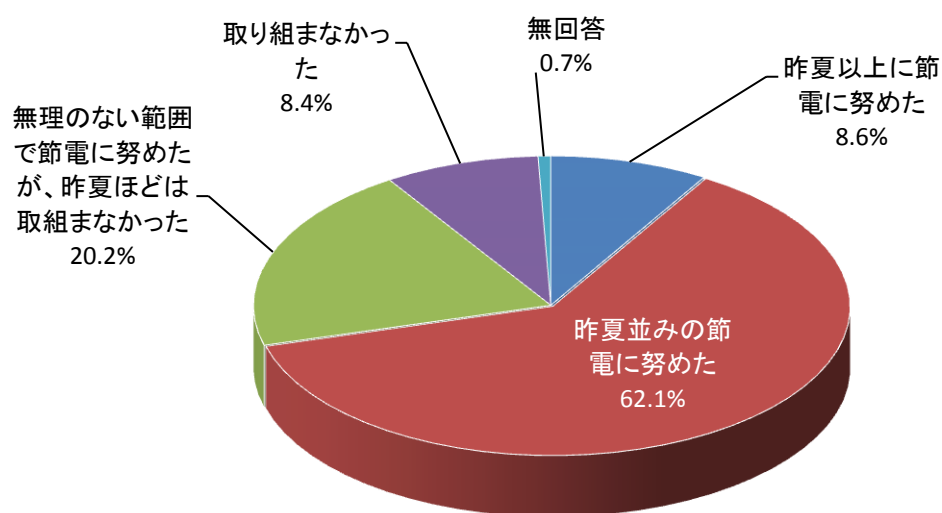
問7 家電の待機電力について（複数回答・回答者577人）

	人数	構成比
リモコンではなく本体の主電源を切る	170	29.5%
長時間使わない機器はプラグを抜いておく	261	45.2%
取り組まなかった	222	38.5%
合計	653	



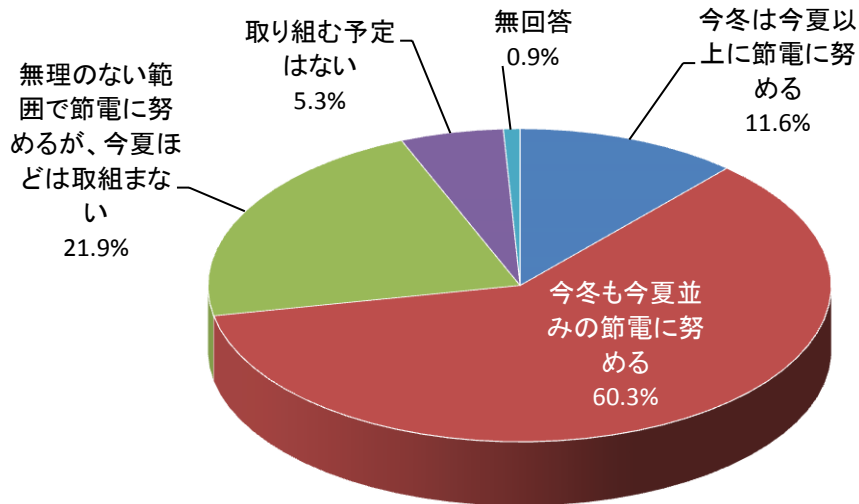
問8 政府が示す節電要請（無理のない範囲で、できる限りの節電）に対して

	人数	構成比
昨夏以上に節電に努めた	50	8.6%
昨夏並みの節電に努めた	360	62.1%
無理のない範囲で節電に努めたが、昨夏ほどは取り組まなかった	117	20.2%
取り組まなかった	49	8.4%
無回答	4	0.7%
合計	580	100.0%



問9 今冬の節電に対する意識について

	人数	構成比
今冬は今夏以上に節電に努める	67	11.6%
今冬も今夏並みの節電に努める	350	60.3%
無理のない範囲で節電に努めるが、今夏ほどは取組まない	127	21.9%
取り組む予定はない	31	5.3%
無回答	5	0.9%
合計	580	100.0%



問10 節電意識の定着について（東日本大震災前と比較して）

	人数	構成比
とても定着した	76	13.1%
無理なく節電できる項目については定着した	349	60.2%
年月が経過するにつれ、意識が低下している	102	17.6%
震災前と変わらない（または、震災前より低下した）	48	8.3%
無回答	5	0.9%
合計	580	100.0%

